

3月6日に食品産業優良企業等表彰

食品産業センターと食品流通構造改善促進機構が主催する第39回食品産業優良企業等表彰で、マルヨ食品（兵庫県香美町、中村善則社長）、横浜丸魚の岩瀬一雄会長、九州鮮魚販売協同組合連合会（九連）の伊藤信宏理事長が農林水産大臣賞に輝いた。表彰式は3月6日、東京都内で開く。

マルヨ食品は1998年、他社に先駆けて「ほたるいか醤油漬け」を発売。つくた煮や煮干しなど加工業者が増えたことでホテルイカの使用量が増加。関連産業の発展に貢献した。

岩瀬会長は全国水産卸協会副会長（現・会長代理）として卸売市場による経営戦略策定の重要性を強調。横浜市場本場の水産物部経営ビジョンを率先して策定した。塩釜市に横浜市場まつりへの参加を呼び掛け、地域活性化と被災地支援に尽力した。

伊藤理事長は、任意団体だった同連合会を協同組合に転換し、九州地域の鮮魚小売商の地位向上と組織強化に努めた。自身が経営する伊藤鮮魚店は福岡県の「子育て応援の店」推奨店として、支援に取り組んでいる。

農林水産省食料産業局長賞にはヤマチュウ食品（北海道函館市、宇苗良社長）が受賞した。添加物を極力使わない食品造

農水大臣賞にマルヨ食品

岩瀬横浜丸魚会長、伊藤九連理事長も

りが強み。「昆布ぐあわび入り粒うに」は道南産のアワビとウニのみを使った高付加価値商品で、同地で2000件以上の得意先を持つ。

ふるさと食品 「コンも同時表彰

食品産業センターが主催する「平成29年度ふるさと食品中央コンクール」では、地域色豊かで新技術による品質向上、農林水産物の加工利用で優れた成果をあげた食品を表彰する。水産関係の受賞企業は次の通り。優良企業等表彰と同時に表彰式を行う。

【農林水産大臣賞】うずしお食品（徳島県鳴門市、後藤祥二社長）▽かねはち（静岡県沼津市、杉本幸仁社長）

【農林水産省食料産業局長賞】阿部蒲鉾店（仙台市、阿部賀寿男社長）▽三玄（福井市、角谷雅和社長）▽三和商事 旬魚房 匠（秋田県男鹿市、武田鋭彦社長）▽とと屋（富山県滑川市、坂井賢治社長）

【食品産業センター会長賞】広田湾遊漁船組合（岩手県陸前高田市、大和田晴男会長）▽正上（千葉県香取市、加瀬幸一郎社長）

